

平成27年2月3日

阪田正博

草津遠征記

第2回 KC スキースクールは1月18日～31日に開催されまして無事故で盛況のうちに終了しました。

期間中25日～27日草津に遠征して来ましたのでその報告をいたします。

宿泊ホテルは山本さん所縁の中沢ヴィレッジで特権的なサービスを受けました。

1月25日（日）晴れ

8：00 KC 発 11：00 草津国際スキー場着

メンバー 阿部 舟橋 末永 倉橋 田賀 和田 阪田

コース KC—長野市—（R406）菅平—鳥居峠—嬭恋—草津

移動手段 末永車（16—55）阪田車（49—55）

昨年1月31日の写真ですが 途中の鳥居峠と嬭恋からの浅間山の写真がありましたので参考までに・・・

冬のこのコース大好きなのです。





浅間山

草津国際スキー場駐車場が満席だったため上部にある殺生河原まで進みここをベースに滑りました。

写真は殺生河原駐車場から振り子、清水沢出口 山頂方向を見ていまして右の小屋は青葉山レストラン、左側に白根火山ロープウェイが見えます。



青葉山レストランで早目の昼食を済ませ足慣らしにレストラン手前右側にある青葉山ゲレンデで5本流しました。なんだか雪が重く振り子での難儀が予測されます。

しかしここまで来た以上敗退するわけにはいきません、ロープウェイで逢の峰山頂駅へ天下の振り子沢（3000m）滑降開始です。

日曜日のせいかルートには多くのスキーマーやボーダーがいてその上に予想通りの雪質で滑り辛いことこの上なし、でも次は清水沢に挑戦です。

再度ロープウェイに乗り逢の峰山頂駅から少し歩いて本白根山リフトで頂上へ。

そこで記念撮影です。（本白根山頂上展望台？より志賀高原方を）



後ろは横手山、右後方に逢の峰 白根山お釜があります。

（昔は白根山お釜までスキーを担いで登り振り子経由天狗ゲレンデまで一気に滑っていましたが現在は噴火警戒レベル2として火口周辺1Km 立入り規制され楽しさが少し減った感じですが）

ここから草津でロングランの振り子沢に並ぶ清水沢（3000M+α）が始まります。

狭かったり 急だったり 緩やかだったりバリエーションに富んだコースです。

下部で振り子沢と合流しロープウェイ山麓駅に繋がります。

皆 悪雪で難儀しているようで何度も来ている私も疲れしました。転倒者が出たかどうかわかりませんが何とか全員無事滑り終えました。

日頃 これらの沢の良さを吹聴していた私としては皆に対して申し訳なく思っていたのですが不満も出ず皆の大人ぶりに救われました。

今夜の宿は山本さんに手配いただいた草津でも有数の大ホテル「中沢ヴィレッジ」です。受付もVIP専用で部屋もジャグジー付最上階（13階）の2室です。

早速温泉で汗を流しました。流石に草津温泉、湯量たっぷり熱さも可成のもの 何よりも酸性の強さです（PH1.5）水虫など1日1回で1週間もあれば治ってしまいます。

かつてはハンセン病の治療にも使われましたが効いたのか効かなかったのか・・・

ともあれご機嫌になって夕食です。

食事は大食堂でバイキング、何よりもタラバ蟹の食べ放題が売りでしょう。

例によってジョッキで乾杯 皆それぞれに美味しいものを皿に盛って夢中で食しました。



レストラン パテオにて。

倉橋さんは殻の山を築くほど蟹好きで他の皆さんもほどほどに、しばし無言の時間もあつたようです。

部屋での2次会は「王様の涙」も準備したのですがスキー疲れか 湯疲れか弾みませんでしたので早めの就寝となりました。

1月26日（月）晴れ

早朝の雪の良い時間に滑ろうとの提案から朝1番発（8：10）の天狗ゲレンデを往復するホテルのシャトルバスを使いゲレンデへ。

早朝のためロープウェイに接続する殺生リフトが動いていなかったのも御成りゲレンデで足慣らし。

気温も低く雪質もさらさら振り子や清水沢の良コンディションを予感させます。

殺生リフトは約1300m長で風のあるときは寒さで震えあがるリフトです。

5月には足元に咲くシャクナゲの群落が素晴らしいルートでもあります。

快晴無風 胸が弾みます。普通なら青葉山ゲレンデで足慣らししますが既に御成り山ゲレンデで済ませてきましたので一気にロープウェイで頂上駅へ。

振り子沢 圧雪もしっかりされていて1番乗りの滑り出しです。そして3000mを一気掛けで4回も滑り、おまけに清水沢を1本やりました。皆 爽快そうです。

ロープウェイからの景色です。



写真左側がロープウェイ山麓駅 下は殺生河原で振り子沢と清水沢の出会いになります。

冬季閉鎖の雪に埋まった R292 が見えます。向こうの山並みは榛名山？

清水沢を滑り終え青葉山レストランで休憩後最下部の天狗山ゲレンデ下までなだらかな斜面を下りました。天狗山ゲレンデ上部は35度くらいあってコブコブ、昔何度か挑戦しましたが取って投げられそのトラウマはいまだに消えません。

ともあれホテルのシャトルバスでホテルへ帰りレストランで昼食を採りました。可愛いウエイトレスの写真を撮ろうとしたのですが嫌われたようです。こんな時山本さんならうまく話をつけ綺麗に写されるのですが・・・そんな中皆さんは彼女にいろいろ話していたようです。



顔を隠されてしまいました。

写真 此処だけの提示と言うことで勝手ながら許してもらうことにします。

昼食後は草津探索です。

行きはバスセンターまでのシャトルバスを使い後は徒歩で。

まずは湯畑で。



撮影者を入れると荒野の七人イヤ草津の七人？と言うところでしょうか。

阿部さんが買ってくれた温泉まんじゅうがとても旨かった。



湯畑上に設置された湯ノ花採取器です。この桶で温度を下げ水中の硫黄（湯ノ花）を析出壁面に付着させて定期的に湯を止めてこさげとります。

この後 私の青春の思い出コースを歩きホテルに戻りました。

余談ですがその思い出を・・・

先に問題になった八ッ場ダム建設に当たり吾妻川の水質を改善する必要がありました。

改善の要点は草津他白根山から流出する酸性水（草津町湯川で PH1.8＝五寸釘が一週間で溶けてなくなる）を中和する必要があり八ッ場ダム建設の先行プロジェクトとして草津町外れに中和工場を建設することになり入社三年目の私が設計施工担当になりました。

写真は平成11年に最新の設備に更新された姿です。



この川が草津の温泉排水を集めた湯川です。

微粉石灰石を1日100トン注入します。

皆さん関心が無かったので我田引水はこのへんにして・・・

ホテルに帰ればまずは温泉 中には景色抜群のジャグジー風呂に入った人もいたようです、そしてバイキング。本日も倉橋さんはカニの殻の山を築いていました。

室内での2次会 昨夜と同じく意気が上がりません、今日は滑り疲れ？それとも歩き疲れ？

ほどほどなところでおやすみなさいしました。

1月27日(火)晴れ

早朝 13階宿泊室からホテル玄関方を見ます。湯川沿いに立ち上る湯気と雲海が幻想的です。



今日のはんびりしてKCに戻ります。



ホテル玄関で記念撮影です。

帰りのオプションとして私が昭和38年冬滑りに行ったことのある新鹿沢温泉へ日帰り湯することにしました。

スキー場とは言えスキーヤーの姿もなく温泉街もさびれていて今回入浴することにした温泉旅館も老夫婦が管理していて建物や設備も古く「温泉 大丈夫かー」との印象を持ちました。

浴槽も古めかしかったのですがそれはそれで趣あり源泉掛け流しで熱めの湯は草津の湯とは違って弱アルカリ性で癒し系の湯と思いました。

吾妻川を境に浅間側が弱アルカリ、草津白根山（草津 万座）が強酸の取り合わも面白いですね。

帰途は往時と同じく R406 を使います。途中菅平 ダボススキー場シュナイダーコースの近く R406 沿いのレストランで昼食を採りました。

この店は入口からしてゴチャゴチャした飾りつけで普通なら入らない見かけなのです。



名前は MEL'S 室内は1950年代から60年代の飾りつけとポップスが流れていて



とても良い雰囲気です。

この写真もとても懐かしく可愛い彼女の作品を思い出します。

皆が店に入って俄然青春時代を思い出し話が活発になったように思います。

この店はカレー専門店で辛みやトッピングが選択できるシステムでなかなか合理的に出来ていました。

我々は店一番のお進め 「焼きカレー」 トッピングはナスかトマトの選択制、食べ方は中央に盛ったご飯の山をカレースープに混ぜること無く周辺の焦げをこさげとって食べるとか・・・お焦げは絶妙な味と舌触りだしトッピングの下のチーズもまた良し。大変 変わっているけどおいしいカレーでして全員が高評価を下しました。

途中峠の下りで阪田車が逆走したり居眠り運転したりしましたが夕方無事 KC に到着しました。

また豪勢なホテルはもちろん草津スキーもコースの面白さが評価されたことは大変うれしいことでした。

草津スキー遠征に当たり山本さんの手配やご配慮いただいたことにつき参加者を代表してお礼申し上げます。ありがとうございました。